

ポートアイランド新キャンパスで 新たな歴史の第二步を踏み出す

神戸学院大学附属高等学校
校長 八田 康弘 さん

100年を超える歴史をもつ神戸学院大学附属高等学校。
いよいよ4月から、ポートアイランド新キャンパスで
新たな歴史の第二步を踏み出した。



八田 康弘（はった やすひろ）
神戸学院大学附属高等学校 校長
1952年、大阪府生まれ。神戸大学農学部卒業。1976年、神
戸学院女子高等学校（現・神戸学院大学附属高等学校）に理
科教諭として赴任。教頭職を経て、2009年より校長に赴任

国際性、サイエンス、高大連
携…、新キャンパスに期待高
まる

―神戸学院大学附属高等学校は
長い歴史のある学校ですね。

八田 淡路島出身の女性・森わ
さがご主人の急逝後、自身が自
活を目指すことを含め、社会に
役立つ女子育成のため明治45年
（1912）、平野で女学校を創
設したのが始まりです。平成24年



（2012）に100周年を迎
えました。

―新キャンパス移転に至るまで
の経緯は。

八田 会下山校舎は昭和11年
（1936）に開設されたもので
したが、平成13年（2001）、男
女共学になった当時から手狭にな
り、十分な設備を整えられない状
況が続いていました。移転場所を
探していたところ、神戸学院大学
ポートアイランドキャンパスの近く
に条件の整った土地が見つかりま
した。校舎と道を隔てたグラウン
ドと2カ所に分かれますが、会下
山の約5倍の敷地を確保でき移

転が決定しました。

―高校と大学の連携が一段と深
まりそうですね。

八田 大学の専門科目をはじめ、
外国語や情報教育などの授業体
験を、協力を得ながら設定する
予定です。自分の将来を見据える
にあたつて非常によい機会になる
と思います。その他、大学生と一緒
にボランティア活動に参加するこ
ともあるでしょうし、また大学生
が高校に来て教育に関する研究
をしたり、現代社会学部生が高校
生向けの防災教育をしたり等々、
今後さらさらに多くの場面での連携
が可能になると思います。

―ポートアイランドという立地
に期待できることは。

八田 ポートアイランドには港
や空港もあり、国際性を身近に
感じることができる環境です。
2015年から大学に新設され
たグローバルコミュニケーション学部
との連携も含め、国際的視野を
養う教育の条件がさらに整ったと
いえます。また、スーパーコンピュー
タ「京」や理研などサイエンス系の
施設が立地していますので、有効



中庭に階段を設けることで、生徒たちがコミュニケーションを図りやすい環境をつくった

に連携できれば、文科省が推進しているSSH（スーパーサイエンスハイスクール）にもつながる展開が期待できると思います。

―国際的視野を養うというのは教育方針の大きな柱のひとつですね。

八田 本校では従来から国際クラスを開設し、語学研修体験などを通しグローバル教育に力を入れてきました。4月からは「特進グローバルコース」を新設し、選択制で1カ月または3カ月間のニュージーランドでのホームステイ語学研修や長期・短期の留学プログラムを充実させる予定です。修学旅行では「特進グローバルコース」以外の生徒は、イギリス、フランスでのホーム



ポートアイランドには多くの研究機関や企業が進出する。外部との連携も大きな魅力になる

ステイ体験をしますので、全員が在学中にグローバル体験をすることになります。

―生徒の通学エリアも変わってくるのではないのでしょうか。

八田 今までは神戸市北区、中央区以西が主な通学エリアでしたが、市内でも若千人口が増加している東部エリアや阪神間から通学しやすくなり、本校が進学先の選択肢のひとつになると期待しています。

―ポートアイランドにとっても、活性化のきっかけになると思いますね。

八田 これから、さらに元気を出していききたいポートアイランドですが、神戸学院大学をはじめ、今回



一人一台タブレットを使用し、電子教科書を活用する

の附属高校移転、さらに来年度の附属中学校開校で街に若者が増え、賑わいのきっかけにはなるかと思っています。ただし交通の便については今後、地元の方々のご理解をいただき、神戸市さんとも協議しながら解決していくべき課題です。

緑・風・光があふれる 明るい新キャンパス

―新キャンパスの概要をご紹介します。

八田 「ロ」の字型4階建て校舎の中心に中庭を配しているのが大きな特徴です。中庭は緑にあふれ、十分に光を取り入れ、生徒たちが風通しのよい明るい環境でコ



同じくポートアイランドにある神戸学院大学とも連携を図る

ミュニケーションをとれる大空間です。教室、廊下、図書館、食堂、多目的室など全てのスペースにガラス越しの光が差し込み、また外からの目が届く開放的な構造になっています。もちろん無線LANを導入し、ICT教育に対応できるようにしています。

―従来から情報教育には力を入れておられますが、さらに発展させる予定ですか。

八田 2001年から一人一台のノートパソコンを導入し、授業ではもちろんですが、生徒からの発信手段のひとつとして活用してきました。その成果が大学進学してからのプレゼンテーション力で発揮さ



各階に植栽を配することで緑があふれる環境をめざす

れていると評価いただいています。さらに新校舎では一人一台のタブレットを活用する予定です。

―部活動も活気づきますね。

八田 会下山では学校敷地内に施設を造る余裕がなく、体育系の部活は校外へバス移動していました。時間的ロスもあり、なかなか活発な部活動ができないのが現状でした。ポートアイランドではやつと自前で施設を整えることができました。中でも、硬式野球部ができることになったのは大きな変化です。まずは甲子園行きの切符を手にする道が開けたということです。

―今後の展望について。



職員室からはすべての教室を見渡することができる

―生徒にも学校にも希望の春ですね。未来に向けた明るい話題を提供いただきありがとうございます。



男女共学の中高完全一貫教育をめざして、来春には中学校が開校

神戸学院大学附属高等学校 新キャンパスってこんなところ

今春、ポートアイランドにオープンする神戸学院大学附属高等学校。注目すべきは、学年、クラスの枠を超え、生徒、教員のコミュニケーションを図るために中庭を設けた点。さらに中庭に、図書館、多目的室、食堂などを集約し、賑わいを創出する。明るく、通しの良さが心地よい開放的なキャンパスになっている。



300名の収容をもつ多目的室「ブラムホーム」。屋外ステージともつながる



利用しやすく、明るくおしゃれにデザインされた図書館



木製の机と椅子を備える書道室



天井のデザインが印象的な最先端のアリーナ



中庭を設けたことで、教室には明るい光が差し込む



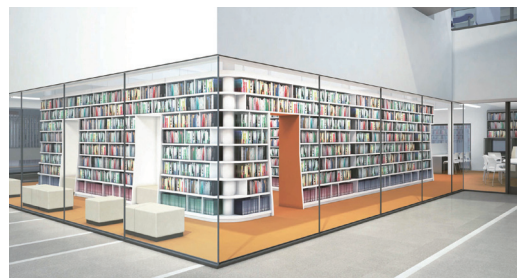
日本の伝統文化を学ぶ和式作法室



身体に負荷をかけない床材を使用した武道場



中庭には、自習室も設けられている



図書館は、本が搬入されるとこのようなイメージになる



楽しさをコンセプトに、デザイン性にあふれる食堂



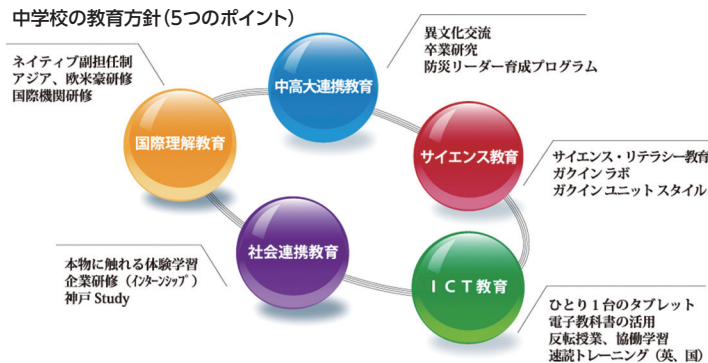
1階から4階までが階段で行き来が可能となる



神戸学院大学附属高等学校の新校舎の全景模型

2017年4月開校予定(認可申請中) 男女共学60人の中高完全一貫校

基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を解決する力(思考力・判断力・表現力等)の養成はもろんのこと、将来、「グローバル人材」となるために必要な素養と力(知・徳・体)を主体的に身につける、「全人教育」をめざす。



いうことについて考える第二ステージへと進む。さらに論理的な思考能力やコミュニケーション能力を育みながら自立への準備をする第三ステージ、将来に向けて具体的な目標を定める第四ステージと、6年間を4つのステージに分け一人一人が自分の目標へと向かう。授業は、生徒の習熟度に応じたゆとり・じつくりと、二人一台のタブレットを使うICT教育の両軸で進める。

神戸学院大学キャンパスとも近接した環境で、大学との連携も十分に活用しながら附属中高一貫教育が始まろうとしている。



2016年高等学校のポートアイランド移転に続き、2017年には中学校が開校する予定



神戸学院の校祖・森わさ

神戸学院大学附属中学校 2017年4月開校予定

明るく開放的なポートアイランド新校舎で始まる
中高一貫教育

中高一貫教育の理想は校祖・森わさが掲げたものだったが、100年を超える時代の流れの中で中学校は一旦廃止という形を取らざるをえなくなっていた。2017年の附属中学校開校は、校祖の思いを時代のニーズに適應する新しい形で実現するものだ。学び舎はポートアイランドに新設された校舎に用意されている。明るく開放的な環境と、長年の教

育経験に裏付けられた確固とした理念と方針の下で過ごす6年間は、人間として成長する時期にある生徒たちにとって大きな意味をもつものだ。

「グローバル人材」育成を目指す

蓄えた知識を表現し、培った能力を存分に発揮できる力を養成する「全人教育」で、将来は自分で考え、判断し、積極的に物事に取り組める「グローバル人材」育成を目指している。つまり、日本人が本来もっている美德・素養を身につけながら自己を形成し、地域社会と日本・グローバルに貢献しながら、世界・グローバルに活躍する人材育成を目標としている。

6年間4つのステージで、一人ひとりが自分の目標へと向かう

中学校入学後の第一ステージでは生活と学習の基本を整え、校外の体験学習や地域社会との関わりを通して公共心を育み、働くこと

2017年4月開校 神戸学院大学附属中学校(認可申請中)「個別説明会」実施のご案内

4月
「個別説明会」

実施日時

第6回 平成28年4月 9日(土)
第7回 平成28年4月16日(土)
第8回 平成28年4月23日(土)

①10:00②10:30③11:00④11:30⑤12:00
※時間は、30分を目安にさせていただきます。

実施会場

神戸学院大学附属高等学校 新校舎
神戸新交通ポートライナー「みなとじま」(キャンパス前)駅下車。西へ徒歩約1分
〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-6-3 ※公共交通機関をご利用ください。

お申し込み先

神戸学院大学附属高等学校 入試広報部
「お子様のお名前」「小学校名」「学年」「連絡先」をお申し出ください。
電話 078-302-2016 平日の9:00~17:00の時間内でお受け致します。

〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-6-3 電話 078-302-2016
E-mail:k-info@kobegakuin-f.ed.jp http://www.kobegakuin-f.ed.jp



認可申請中